

カリキュラムマップ

(スポーツ教育専攻)

スポーツ教育専攻	1 年				2 年				3 年				4 年				
	前期	DP	後期	DP	前期	DP	後期	DP	前期	DP	後期	DP	前期	DP	後期	DP	
基礎教育科目	思考力の養成	情報処理法 ①	情報活用法 統計分析法 ①						問題解決法 ①②	創造思考法 ①							
	表現力の養成	英語 I (基礎) 日本語 I (読解、分析) 日本語 II (作文、論文) ①	英語 II (応用) 日本語 III (発表、討論) ①	英語 III (実践) 日本語 IV (プレゼンテーション) ①													
	人間力の養成	自己管理と社会規範 地域活動と社会貢献 ①②	他者理解と信頼関係 ①②	チームワークとリーダーシップ ①④													
	社会力の養成	基礎ゼミ I ①	基礎ゼミ II ①	総合ゼミ I ①	総合ゼミ II ①	キャリアプランニング ①	社会的・職業的自立 I ①								社会的・職業的自立 II ①		
	人間の理解	心理と行動 健康と運動 ①					歴史と文化 民族と宗教 ①②								生命と倫理 ①		
	社会の理解	社会と憲法 ①②	法律と人権 ①	政治と行政 経済と政策 ①②											自然と環境 ①		
	基幹科目	人間形成論 心理学概論 教育学概論 (中・高) ① ①② ①②	対人関係論 道徳教育論 教育心理学 (幼・小・中・高) 特別支援教育論 (幼・小・中・高) 教育行政学 (幼・小・中・高) 教職概論 (中・高) ① ①② ①②③ ①②③ ④ ②③														
専門教育科目	展開科目		体育実技 I 体育実技 VI 体育原理 ③ ③ ②④	体育実技 II 体育実技 III 体育心理学 体育社会学 生理学・運動生理学 教育課程論 (中・高) 教育方法論 (中・高) 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法 (中・高) コーチング論 健康管理論 ③ ③⑤	体育実技 IV 体育実技 V 体育実技 VII 運動学・運動方法学 体育経営管理学 道徳の指導法 (小・中) 体力測定・評価法 健康教育論 バイオメカニクス ③ ③	衛生学・公衆衛生学 学校保健 (小児保健・精神保健・学校安全及び救急処置を含む) 初等中等教科教育法 (体育・保健体育) 中等教科教育法 I (体育) 中等教科教育法 III (保健) 総合的な学習 (探究) の時間の指導法 (小・中・高) 生徒・進路指導の理論と方法 (小・中・高) トレーニング論 ①② ①②④⑤ ③ ③ ③ ③ ④ ③ ③	中等教科教育法 II (体育) 中等教科教育法 IV (保健) 特別活動の指導法 (小・中・高) 教育相談の理論と方法 (幼・小・中・高) 運動部活動の指導法 ③ ③ ③										
	発展科目				発達心理学 ⑤	カウンセリング論 学校・学級経営 ③ ④	学校心理学 授業観察演習 授業実践演習 ③ ②③④ ②③④								チーム学校論 ④		
関連科目	生涯スポーツ I ③	生涯スポーツ II ③	行動科学概論 心理統計法 発育・発達論 医学・スポーツ医学 生涯スポーツ III ③	①⑤ ③④ ⑤ ③⑤ ③	心理学基礎実験 社会心理学 臨床心理学 健康づくりの理論と方法 スポーツ指導法 ③④ ③ ①③⑤ ①⑤ ③	発達臨床心理学 心理療法概論 健康運動特講 I 健康運動実践指導 I ③ ③ ③	心理学実験演習 解剖学・機能解剖学 栄養学・スポーツ栄養学 心の健康と行動 運動プログラム管理 生活習慣病と身体運動 健康運動特講 II 健康運動実践指導 II ④ ① ③ ⑤ ① ③ ③	地域スポーツ指導 I ③⑤	コミュニケーション心理学 心理検査法 地域スポーツ指導 II ①③④ ④ ③⑤								
実習科目	中等教職体験実習 健康体験実習 ③ ③												中等教育実習事前事後指導 初等中等教育実習 (小・中) 中等教育実習 (中・高) 健康実践演習 ②③ ①③④ ①③④ ⑤	教職実践演習 (中・高) ④			
研究科目								教育学研究法 I ⑤	教育学研究法 II ⑤	卒業研究 I ④⑤	卒業研究 II ④⑤						

【ディプロマポリシー】

- ① 体育・スポーツ教育現場に求められる教養的知識を修得し、専門的職業人としての役割を果たすことができる。
- ② 体育・スポーツ教育の理念、歴史、思想、制度に関する基礎的な知識と教員に求められる資質能力を修得し、スポーツ教育者として主体的に判断し行動することができる。
- ③ 生徒理解や教育相談に関する基礎的知識、技能とともに体育教科に関する専門的知識、技能を修得し、体育・スポーツ教育現場において教育活動を実践することができる。
- ④ 生徒理解や学級経営等に関する諸課題を探求し、修得した体育・スポーツ教育者としての基本的資質、能力を使命感と責任感をもって教育活動の実践に活かすことができる。
- ⑤ 心身の健康、身体の機能などの基礎的理論と専門的知識を修得し、教育研究を通して地域社会に貢献することができる。